

東京オリンピック・パラリンピック2020に向けて  
丸橋駐アンゴラ大使メッセージ

2021年7月21日  
在アンゴラ日本国大使館

皆様こんにちは。

駐アンゴラ日本大使の丸橋次郎です。

いよいよこの23日、世界の団結・平和の象徴として、そして、10年前の東日本大震災からの復興を世界に発信する「復興オリンピック・パラリンピック」として、東京オリンピックが開幕します。

昨年に始まった COVID-19 パンデミックにより一年延期された東京オリンピック・パラリンピック2020は、去る7月8日の五者協議（IOC 会長、IPC 会長、大会組織委員会会長、東京都知事及びオリパラ大臣）の合意により、人流を抑制するとともに感染拡大の防止等に向けた厳しい措置として無観客で開催されることが決定されました。

日本は、WHO や専門家の意見を取り入れながら、感染対策を万全にし、科学的・客観的な観点から、安全・安心な大会を実現すべく、しっかりと準備を進めてきました。本大会を通じて、世界が COVID-19 という大きな困難に直面する今だからこそ、世界が団結し、人類の努力と叡智によって、難局を乗り越えていけることを日本から世界に発信したいと考えています。

また、「史上最もイノベーティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会」の実現のために、今回の東京大会では、「持続可能な開発目標（SDGs）への貢献」「共生社会の実現」「ロボットなどの最先端技術の活用」を大きな柱とし、使用済み家電からのメダルの製造や家庭のプラスチックごみからの表彰台作り等の取組が行われています。

（詳細は以下のリンクをご覧ください）。

メダルプロジェクト：<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/medals-project/>

表彰台プロジェクト：<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/podium-project/>

アンゴラは、オリンピックに、ハンドボール、柔道、競泳、陸上、セーリングが、パラリンピックには陸上競技にそれぞれ出場すると承知しています。女子ハンドボール代表については、去る14日に日本に到着、翌日ホストタウンである熊本県玉名市に入り、現在、事前合宿が行われています。玉名市では、ホストタウン交流事業として昨年11月、同市の小学生が選手に向けて応援絵はがきでエールを届ける取組が行われました。先日アフリカ選手権を制覇したアンゴラ女子ハンドボール代表は、オリンピックにおいても大いなる活躍と健闘が期待されます。奇しくも日本とアンゴラは予選リーグで同じグループとなり7月31日に日本対アンゴラ戦が予定されており楽しみです。もちろん、その他の競技においてもアンゴラ人選手の大会での活躍と健闘をお祈りします。

本年は日・アンゴラ外交関係樹立45周年です。スポーツ分野においては、日本はこれまでに、アンゴラ柔道連盟及び空手連盟に対する置等の寄贈のほか、日本企業（コマツ）による柔道着の贈呈、「空手大使杯」や専門家による（柔道・空手）ワークショップの開催等で協力を行ってきました。柔道や空手をはじめとする日本の伝統武道のアンゴラでの普及に尽力頂いている関係者の皆様に改めて感謝申し上げるとともに、さらなる普及を期待します。

駐アンゴラ日本大使として、東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、アンゴラ政府及びスポーツ関係機関の皆様と共に、今後はスポーツ交流を通じて日アンゴラ関係を更に強化していきたいと思っております。

最後に重ねて、東京オリンピック・パラリンピック2020におけるアンゴラ人選手健闘をお祈りします。